

# 第17回

## あたたつて 日本癌病態治療研究会の開催に 吉川敏一

第17回日本癌病態治療研究会当番世話人  
京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科学教授



この度、第17回日本癌病態治療研究会を京都において開催させていただくこととなり大変光栄に存じております。

近年、医学の分野では、癌の発癌機構、癌病態、癌の転移・進展のメカニズムの解明がめまぐるしく進んでおり、それに基づいた、例えば分子標的治療や遺伝子治療が開発されています。一方、医療現場においても、癌の3大治療法といわれる手術・放射線・抗癌剤の新たな開発がめまぐるしく進んでいます。しかしながら、癌による死亡者数も増加の一途です。その様な状況の中で、「癌の病態を踏まえた癌治療」が益々重要になってきています。今年のメインテーマは、「QOL向上を目指した癌病態の解明」とさせていただきました。癌の病態を十分に把握したうえで癌治療の実践をしていくことがQOLの向上に重要だという考えからすれば、癌の病態はまだまだ解明されていないことが数多くあります。本研究会では、比較的臨床的な問題点を主題に挙げさせていただき、臨床の現場から癌病態を探るきっかけが見つければ、と考えております。また、シンポジウムとワークショップに一つずつ基礎的なテーマも取り上げさせていただき、癌治療の近未来を模索していただきたいと思っております。

また、特別講演には、京都大学大学院生命科学研究所教授で樹状細胞の日本の第一人者であられる稲葉カヨ先生にご講演をいただくことと致しました。教育講演では、奈良県立医科大学医学部医学科生物学教室教授で多方面にご活躍の大西武雄先生に「放射線感受性、温熱感受性と p53 および Hsp70」と題したご講演をいただくことと致しました。一般演題においても、非常に興味深い演題を多数ご応募いただきましたので、じっくりとディスカッションできるように時間を確保してあります。本研究会での研究発表と意見交換の場はその重要性が年々高まっており、実りある成果があるものと期待されております。

多数の皆様のご出席を心からお待ち申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

### 第17回 日本癌病態治療研究会

当番世話人：吉川敏一(京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科学教授)  
日 時：2008(平成20)年6月26日(木)、27日(金)  
会 場：メルパルク京都(旧：ばるるプラザ京都)  
京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676-13/JR京都駅前  
TEL：075-352-7444(代) FAX：075-352-7390  
<http://www.mielparque.jp/kyt/kyt01.html>  
学会事務局：〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路梶井町465  
京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科学  
担当：古倉 聡、高木智久  
事務取扱：〒602-0855 京都市上京区河原町通荒神口下る西側安田ビル3階  
株イーサイド コンベンション事業局内  
TEL：075-213-7057 FAX：075-213-7058  
E-mail：jsct17-office@e-side.co.jp